



* 学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

12月の生活目標は「思いやりの心をもとう」

～合い言葉は「相手の気持ちを考えて行動しよう」です～

三連休が2回あった11月があっという間に過ぎ、合唱コンクールから早1ヶ月が過ぎようとしています。今日から12月です。11月の中盤は、1年生の学級にインフルエンザが入り込み、いくつかの学級が学級閉鎖となりました。最近になってようやく1年生からインフルエンザによる出席停止の生徒がいなくなりましたが、2年生や3年生にちらほらとインフルエンザによる出席停止の生徒が出てきました。今年のインフルエンザの強い感染力は、決して侮れません。生徒のみなさん、引き続き注意が必要です。



12月の生活目標は「思いやりの心をもとう」です。重点項目は「相手の気持ちを考えて行動しよう」です。さて、なぜこの寒い時期に「思いやり」を目標にするのでしょうか。冬は、寒さで体が縮こまるだけでなく、心も少し閉じこもりがちになる季節です。また、年末に向けて何かと忙しくなったり、焦ったりすることで、ちょっとした言葉の行き違いや、人間関係のトラブルが増える傾向にあります。そんなときだからこそ、私たちはお互いを「思いやる」心を意識する必要があります。生徒のみなさんが安心して学校生活を送り、心温まる冬休みを迎えられるように、思いやりの心は、実は自分自身を守り、毎日を楽しむための大切な「心の防寒着」のようなものです。

では、「思いやり」とは、具体的にどんなことでしょうか。実は、そんなに難しいことはありません。一番大切なことは「相手の立場になって考えること」です。想像力を働かせることがスタートです。「自分がされて嫌なことはしない」というルールはみなさん知っていると思いますが、もう一歩進んで、「相手が喜ぶことを積極的にする」姿勢を持ってみましょう。目の前にいる友達は今、どんな気持ちかな、何か困っている様子かな、そういった想像力が、思いやりある行動を生み出します。もちろん「想像する」だけではなく、ぜひ「行動」に移してほしいと思います。今日からできる、具体的な行動を3つ提案します。

・行動① 「あいさつ+α」

いつもの元気なあいさつに、一言付け加えてみましょう。「おはよう、昨日寒かったね」「今日のテスト頑張ろうね」など、少しの言葉が相手の心を和ませます。

・行動② 「傾聴と共感」

友達が話しているときは、最後までしっかり聞きましょう。「そっか」「大変だったね」といった共感の言葉は、相手に「自分は受け止めてもらえている」という安心感を与えます。

・行動③ 「小さな親切」

落ちていたゴミを拾う、次の人のためにドアを開けておく、困っている人に「大丈夫？」と声をかける。こうした日常の小さな行動こそが、思いやりの実践です。



みなさんの小さな「思いやり」の行動は、相手の心を温めます。そして、温かくなった相手の心は、また別の人への優しさとなって広がっていきます。そうやって、学校全体が「思いやり」の輪で満たされていく。みなさんの心が少しずつ温かくなれば、いじめやトラブルのない、本当に温かい学校をみんなで作り上げることができます。ぜひ、今日からの学校生活の中で、この3つの行動を意識して実践してみてください。みんなの優しい心遣いで、心温まる12月、そして新年を迎えましょう！

